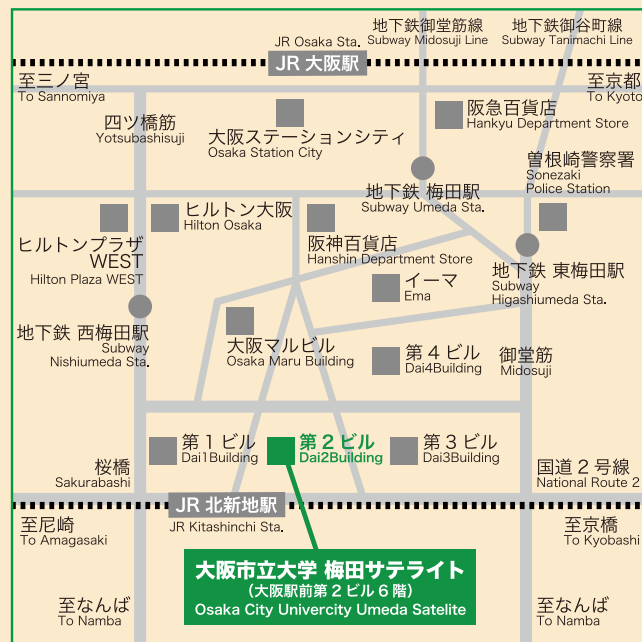
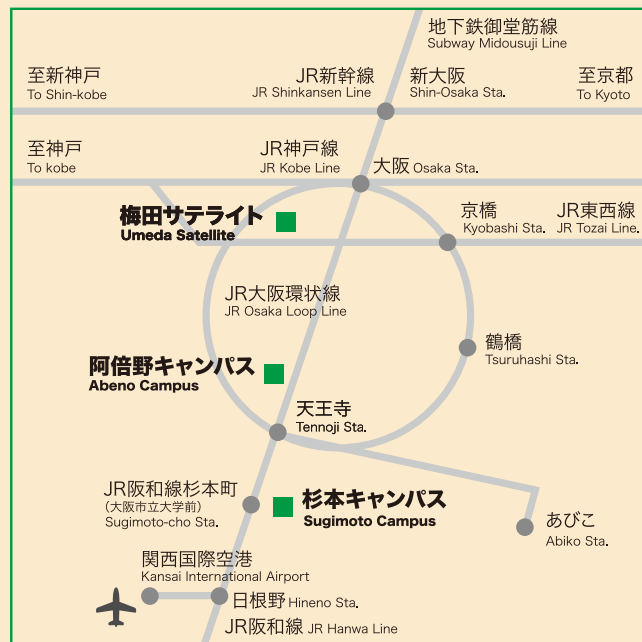


# 都市経営研究科

## 修士課程を受験するためには... (入学までの流れ)

(注意) これは概略です。詳細に関しましては最新の募集要項で必ず確認下さい

《修士課程》冬季入試スケジュール概要						
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学士号を持たない方			12月上旬 出願資格審査	1月上旬 出願	2月中旬 選考 (含口述試験)	3月上旬 合格者発表
学士号を持つ (予定の方)	入会説明会 シンポジウム等	12月上旬 出願資格審査	1月上旬 出願	2月中旬 選考 (含口述試験)	3月上旬 合格者発表	



詳細はホームページをご覧ください

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

☎ 06-6605-3508

URL <http://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/>

# 大阪市立大学大学院 都市経営研究科 入試説明会・公開シンポジウム

会場: 梅田= 大阪駅前第2ビル6F 大阪市立大学梅田サテライト 101 教室又は文化交流センターホール 杉本= 大阪市立大学杉本キャンパス・学情情報総合センター1階文化交流室

- 梅田101 10/12(金) 18:30~21:00**  
 都市政策・地域経済コースシンポジウム **健康都市戦略**  
 【基調講演・コーディネータ】久野謙也氏(筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)  
 【パネリスト】阪口伸六氏(大阪府高石市長)、荒崎成治氏(兵庫県川西市健康増進部長) 【司会】小長谷一之(都市経営研究科教授)
- 梅田101 10/19(金) 18:30~21:00**  
 都市行政コースシンポジウム **市民との協働による立法 - 海岸漂着物処理推進法の成立と改正の例から**  
 【講師】金子博氏(特定非営利活動法人パートナーシップオフィス理事・一般社団法人JEAN代表理事)  
 【司会】高野恵亮(都市経営研究科教授)
- 梅田ホール 10/24(水) 18:30~21:00**  
 都市経営研究科特別シンポジウム 大阪・シカゴ姉妹都市提携45周年記念事業 **女性のリーダーシップ、アントレプレナーシップ**  
 【講師】キャサリン・イバタ=アレンズ氏(デポール大学政治学部教授・グローバルアジア研究プログラムディレクター) 和田彩氏(大阪市経済戦略局立地交流推進部長)  
 【パネリスト】キャサリン・イバタ=アレンズ、和田彩、岩田千栄美(女性研究者支援室特任助教)  
 【司会】久末弥生(都市経営研究科教授) 【使用言語】日本語  
 【主催】大阪市立大学大学院 都市経営研究科 【共催】大阪市、シカゴ姉妹都市インターナショナル
- 梅田ホール 10/31(水) 18:30~21:00**  
**第1回入試説明会**
- 梅田ホール 11/2(金) 18:30~21:00**  
 都市行政コースシンポジウム **議会改革の到達点と課題 - 「住民自治の根幹としての議会」の特徴から考える議会改革-**  
 【講師】江藤俊昭氏(山梨学院大学大学院社会科学部研究科長・法学部教授) 【司会】久末弥生(都市経営研究科教授)
- 梅田101 11/15(木) 18:30~21:00**  
 都市ビジネスコース **「起業のリアル」のぼりビジネスによる事業成長**  
 シンポジウム  
 【講師】伊丹一見氏(株式会社イタミアート代表取締役) 【司会】新藤晴臣(都市経営研究科教授)
- 梅田ホール 11/17(土) 15:30~17:30**  
**第2回入試説明会**
- 杉本 11/18(日) 14:00~17:00**  
 医療・福祉 **入試説明会**  
 イノベーション経営コース  
 ●大阪市立大学杉本キャンパス・学情情報総合センター1階文化交流室  
 ※当日参加不可の方は、梅田で開催される入試説明会に参加するか、kawamurat@osaka-cu.ac.jp までご連絡下さい。
- 梅田ホール 11/20(火) 18:30~20:30**  
 都市政策・地域経済コースシンポジウム **共感をもとにした資金を都市経営に活かす - 地方自治体とクラウドファンディング-**  
 【パネリスト】奈良英彦氏(奈良県産業・雇用振興部産業政策課課長補佐)、堀景氏(一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-bizLINK 観光マーケティングチームマネージャー)  
 【コーディネータ】佐野修久(都市経営研究科教授)
- 梅田101 11/22(木) 18:30~21:00**  
 都市ビジネスコース **「起業の科学」著者が語る新規事業7つのポイント**  
 シンポジウム  
 【講師】田所雅之氏(Unicorn Farm CEO) 【司会】梅原清宏(都市経営研究科教授)
- 梅田ホール 12/5(水) 18:30~21:00**  
**第3回入試説明会**



10/12 (金)  
梅田 18:30~21:00

都市政策・地域経済コースシンポジウム 「健康都市戦略」

趣旨

急速な高齢化と地方財政の困難な課題に直面する最近の都市政策・公共政策では、「健康都市づくり」が大きな可能性として注目されています。寿命だけ延びても健康寿命が延びなければ生活の質（QOL）や財政が悪化することから「健康寿命」「未病」概念がクローズアップされているのです。本シンポジウムではこの健康都市の代表的専門家である久野譜也教授にお話いただき、関西のリーダーや担当者に事例をご紹介いただき、楽しくディスカッションしたいと存じます。



【基調講演・コーディネータ】

久野譜也氏（筑波大学大学院人間総合科学研究科教授）

1962年生まれ。筑波大学大学院博士課程医学研究科修了。医学博士。2011年より現職。2002年健康増進分野日本初の大学発VB(株)つくばウエルネスリサーチを設立。2009年全国8市長とSmart Wellness City 首長研究会を立ち上げ、現在37都道府県74区市町に拡大。



【パネリスト】荒崎成治氏（兵庫県川西市健康増進部長）

1962年生まれ。兵庫県立川西緑台高校卒業後、1980年川西市入庁。2008年健康福祉部障害福祉課長、2012年企画財政部財政室長、2016年健康福祉部長寿・保険室長。2018年より現職。



【パネリスト】阪口伸六氏（大阪府高石市長）

清風南海高等学校を経て同志社大学卒業。2003年高石市長当選、現在5期目。日本健康都市連合発足幹事、泉州市・町関西国際空港推進協議会会長、石油基地自治体協議会副会長等を務め、2017年大阪府市長会会長に就任。



【司会】小長谷一之（都市経営研究科教授）

京大大学院理学部卒、東京大学大学院理学系研究科修士課程修了。1989年大阪府立大学を経て、1996年大阪府立大学経済研究所助教授、2003年より同創造都市研究科助教授、2005年より同教授、2018年4月より現職。著書に『経済効果入門』『地域活性化戦略』『都市経済再生のまちづくり』『まちづくりと創造都市1・2』『都市構造と都市政策』ほか。

10/19 (金)  
梅田 18:30~21:00

都市行政コースシンポジウム

「市民との協働による立法  
—海岸漂着物処理推進法の成立と改正の例から—」

趣旨

近年、NPOをはじめとした市民がさまざまな問題解決のために法制定に深く関わる事例が増えています。国際的な問題として昨今認識されているマイクロプラスチックなど海洋ごみ問題に対処するために、今年6月に改正された海岸漂着物処理推進法もその一つです。今回は、この海岸漂着物処理推進法を題材として、市民との協働による立法についてご講演いただきます。



【講師】金子博氏

（特定非営利活動法人パートナーシップオフィス理事・一般社団法人JEAN代表理事）

山形県酒田市を拠点に海洋ごみ問題に幅広く取り組むとともに、2009年の海岸漂着物処理推進法の成立と、2018年の同法改正にNPO/NGOの立場から尽力した。海洋ごみ問題に関する講演、論文多数。



【司会】高野恵亮（都市経営研究科教授）

法政大学大学院社会科学研究科博士後期課程修了・博士（政治学）。著書に『戦後国会における議員立法』、共著書に『環境政治の展開』、『政治学の基礎』、『行政不服審査の実務』、『現代日本宰相論』等。立法過程や環境政策の形成過程、行政手続の透明性向上に関する制度について研究。

10/24 (水)  
梅田 18:30~21:00

都市経営研究科特別シンポジウム 大阪・シカゴ姉妹都市提携45周年記念事業

「女性のリーダーシップ、アントレプレナーシップ」

趣旨

大阪市の姉妹都市であるシカゴ市は、女性のリーダーシップ人材育成に積極的に取り組む都市として全米でも知られています。7月にシカゴ市で開催されたグローバル・ユース・アンバサダー・リーダーシップサミットには、都市経営研究科の久末弥生教授が大阪市代表として参加し招待講演を行いました。今回、シカゴ市での新たな交流を契機に、同市のデポール大学からキャサリン・イバタ=アレズ教授、大阪市経済戦略局から和田彩部長をお招きし、女性のリーダーシップとアントレプレナーシップをテーマにご講演いただくと共に、本学女性研究者支援室の岩田千栄美特任助教も加わり、パネルディスカッションを展開します。



【講師・パネリスト】キャサリン・イバタ=アレズ氏

（デポール大学政治学教授グローバルアジア研究プログラムディレクター）ノースウェスタン大学で国際政治経済の博士号を取得後、東京大学先端経済工学研究センターでJSPSポスドクフェロー、同志社大学客員研究員などを歴任。主要著書として『(邦題) 科学技術立国の彼方に：アジアにおけるバイオメディカルイノベーションとアントレプレナーシップ』（スタンフォード大学出版社）、『(邦題) 日本におけるイノベーションとアントレプレナーシップ:政治、組織、ハイテク企業』（ケンブリッジ大学出版局）など。



【パネリスト】岩田千栄美氏（大阪市立大学女性研究者支援室特任助教）

お茶の水女子大学卒業後、経営コンサルティング会社に入社。国内最大の顧客満足度調査事業を運営。26歳で女性初の統括マネージャーに就任。約100名の女性スタッフをマネジメントし、6年間で事業を10倍に成長させた。現在は女性社員育成のコンサルタントとして活動する。2017年より大阪市立大学女性研究者支援室特任助教。



【講師・パネリスト】和田彩氏（大阪市経済戦略局立地交流推進部長）

1988年大阪府役所奉職。1998年より3年間、大阪市シカゴ事務所（当時）にて姉妹都市交流や大阪プロモーションを担当。帰国後、中小企業支援、企業等の誘致、国際経済交流などの担当を経て2015年より現職。40人あまりの部員とともに、国際交流、企業等の誘致業務などに取り組む。



【司会】久末弥生（都市経営研究科教授）

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了・博士（法学）、フランス国立リモージュ大学大学院法学研究科正規留学、アメリカ合衆国テネシー州ノックスビル市名誉市民。専門は行政法、民事訴訟法。単著『アメリカの国立公園法—協働と紛争の世紀』（北海道大学出版会、大阪市立大学学友会顕彰2011年度優秀テキスト賞受賞）、『フランス公園法の系譜』（大阪公立大学共同出版会）、『現代型訴訟の諸相』（成文堂）、『都市計画法の探検』（法律文化社、第25回国際公共経済学会賞受賞）、『考古学のための法律』（日本評論社）ほか多数。

11/2 (金)  
梅田 18:30~21:00

都市行政コースシンポジウム

「議会改革の到達点と課題  
—「住民自治の根幹としての議会」の特徴から考える議会改革—」

趣旨

行政改革は各自治体のスリム化等とともに、今日自治体間連携によるものが積極的に提言・活用されている。行政改革は、行政の論理だけではなく、住民が主体的にかかわる必要がある。そこで「住民自治の根幹」としての議会のあり方を問う。



【講師】江藤俊昭氏（山梨学院大学大学院社会科学研究科長・法学部教授）

中央大学大学院博士後期課程満期退学、博士（政治学）。専門は地域政治論。第29次第30次地方制度調査会委員、総務省「町村議会のあり方に関する研究会」構成員等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「報酬等のあり方に関する研究会」会長、同特別表彰審査委員、栗山町・芽室町等で議会サポーター等。



【司会】久末弥生（都市経営研究科教授）

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了・博士（法学）、フランス国立リモージュ大学大学院法学研究科正規留学、アメリカ合衆国テネシー州ノックスビル市名誉市民。専門は行政法、民事訴訟法。単著『アメリカの国立公園法—協働と紛争の世紀』（北海道大学出版会、大阪市立大学学友会顕彰2011年度優秀テキスト賞受賞）、『フランス公園法の系譜』（大阪公立大学共同出版会）、『現代型訴訟の諸相』（成文堂）、『都市計画法の探検』（法律文化社、第25回国際公共経済学会賞受賞）、『考古学のための法律』（日本評論社）ほか多数。

11/15 (木)  
梅田 18:30~21:00

都市ビジネスコースシンポジウム

「起業のリアル」のぼりビジネスによる事業成長

趣旨

ゼロから創業し、自社ののぼりビジネスを全国シェアNo.1に成長させるまでの「起業のリアル」について、本コースの前身である創造都市研究科修士課程を修了された、株式会社イタミアート・伊丹一晃代表にご講演を頂きます。



【講師】伊丹一晃氏（株式会社イタミアート代表取締役）

1999年に広告作成業者として有限会社イタミアートを設立後、インターネットによる「のぼり」の製造・販売事業に参入し、全国ナンバー1シェアを獲得する。2015年3月、大阪市立大学大学院創造都市研究科修了（修士（都市ビジネス））。



【司会】新藤晴臣（都市経営研究科教授）

大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程修了・博士（経営学）。北海道大学経済学部卒業後、民間シンクタンクと複数のベンチャー企業にて戦略立案に従事。その後、国立研究開発法人産業技術総合研究所ベンチャー開発センター研究員、明星大学経営学部准教授を経て、現職。専門は、コーポレートベンチャーリング及び大学発ベンチャー。著書は、『アントレプレナーの戦略論』（中央経済社）ほか多数。

11/20 (火)  
梅田 18:30~20:30

都市政策・地域経済コースシンポジウム

「共感をもとにした資金を都市経営に活かす  
—地方自治体とクラウドファンディング—」

趣旨

最近、事業の趣旨に共感した不特定多数の人々からインターネットを通じて小口の資金を集める「クラウドファンディング」に注目が集まり、地方自治体においても活用が進みつつあります。  
①地域の中小企業等が行う事業に必要な資金の調達を支援し中小企業等の振興を図るためのツールとして活用している「ならクラウドファンディング活用事業」  
②地方自治体の実施する事業に必要な資金の調達、すなわち地方自治体の歳入（収入）確保の手段として活用した「別府市湯 - 園地プロジェクト」について紹介するとともに、地方自治体がクラウドファンディングの活用を進める上での課題やポイント等について考えます。

【パネリスト】奈良英彦氏

（奈良県産業・雇用振興部産業政策課課長補佐）

1992年奈良県入庁、観光、中小企業振興等を中心に歴任し、2014年4月より現職となり、「ならクラウドファンディング活用事業」を担当。

【パネリスト】堀景氏

（一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォームB-bizLINK観光マーケティングチームマネージャー）

1998年別府市役所入庁、観光課などを歴任し、2018年4月より現職。観光課在籍時に「湯 - 園地プロジェクト」を担当。



【コーディネータ】佐野修久

（都市経営研究科教授）

北海道大学法学部卒、東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻修了。政府系金融機関、香川大学、釧路公立大学を経て現職。PPP/PFIや地域経営/公共経営について研究。

11/22 (木)  
梅田 18:30~21:00

都市ビジネスコースシンポジウム

「「起業の科学」著者が語る新規事業7つのポイント」

趣旨

新規事業を立ち上げ成功させることは、企業存続に不可欠ですが、成功率は高くありません。どうすれば新規事業の失敗を防ぐことができるのか、「起業の科学」論に基づいて、新規事業成功のポイントについてご講演いただきます。



【講師】田所雅之氏（Unicorn Farm CEO）

日本と米国シリコンバレーで合計5社を起業してきたリアルアントレプレナー。米国シリコンバレーのベンチャーキャピタルのベンチャーパートナーを経て、現在は、国内外のスタートアップ数社の戦略アドバイザーやボードメンバーや日本最大級のウェブマーケティング会社BasicのChief Strategic Officerを務める。世界で累計7万シェアされたスライド"Startup Science"、発売後、3部門（経営、起業、イノベーション）で42週連続ベストセラー1位になった書籍『起業の科学 スタートアップサイエンス』の著者である。



【司会】梅原清宏（都市経営研究科教授）

京大大学院理学部・文学部卒、大阪市立大学大学院創造都市研究科修士課程修了・修士（都市ビジネス）。大学卒業と同時に起業し、教育事業及びコンサルティング事業を経営。2018年4月より現職。